

歴史

幻の将軍が住んだ街

江戸幕府最後の将軍・徳川慶喜の弟・昭武が住んだ「戸定邸」は、国内で唯一、一般公開されている徳川家の住まいです。



建物は国の重要文化財、建物に面したお庭は国の名勝に指定されていて、かつての敷地の3分の1となる2、3ヘクタールが「戸定が丘歴史公園」として整備されています。毎年春になると、高さ10mほどの紅しだれ桜が咲き誇ります。

2018年には庭園の復元工事が完成し、明治時代のお庭がよみがえります。



野菜・梨が美味しい街

農産物



松戸市は千葉県内でもトップを争うねぎの生産地。特に、矢切地区の「矢切ねぎ」、小金地区の「あじさいねぎ」が有名です。

さらに、二十世紀梨の発祥地としても知られ、現在は幸水や豊水・新しい品種などを育てています。市内の50以上の梨園では、とれたてのみずみずしい梨を買ったり梨狩りを楽しむことができます。



太くて甘い矢切ねぎ(写真右)と、香りと食感が良いあじさいねぎ(写真左)

広告